

facebook

メールアドレスまたは携帯番号 パスワード

ログイン

アカウントを忘れた場合



聖心女子大学
「聖心歳時記」

@SeishinDiary

ホーム



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

「いいね！」 済み・8月6日・編集済み

シリーズ学生記者が行くー広尾Walking2016ー

広尾橋の交差点から広尾商店街を背にして有栖川宮記念公園に向かって歩き、突き当たりを右に数十メートル進んだところの鳥居をくぐると一対の狛犬（写真1）が出迎えてくれます。ここ廣尾稲荷神社は慶長年間徳川2代目将軍秀忠が鷹狩りの際に稲荷を勧請したと伝えられています。

私たちがお参りする拝殿は木造神明作りで風情を感じられることでしょう。そして、社務所に許可をいただき、拝殿（写真2）の中へ入り天井を見



上げると、そこには今にも動き出しそうな、迫力のある竜（写真3）が生き生きと描かれています。これは洋画家の先駆者である高橋由一の日本画最後の大作として貴重なものとされています。じっと目を凝らして見てみると、頭から尻尾まで非常に細かく竜が描かれていて圧倒されます。

社殿の左隣には樹齢100年といわれる大きな銀杏の御神木（写真4）。弘化2（1845）年に発生した青山火事により樹木の中身を焼かれ、外皮のみで今なお枝葉を繁らせています。そんな生命力あふれる御神木の幹の中に顔を入れ、見上げてみると外からは陽光が差し込み、何とも言えぬ感動に包みこまれます。

広尾駅からほど近い静かなこの場所で、長きにわたり地元広尾を見守ってきた廣尾稲荷神社。皆さんもお仕事や勉強で疲れた時は心を落ち着け、パワーをもらいに足を運んでみてはいかがでしょうか。

SRS(聖心 Radio Station)部員 坂口友唯(1年)

上：写真1「狛犬の出迎え」

下：左 写真2「拝殿」、中 写真3「高橋由一作 竜」、右 写真4「御神木」

